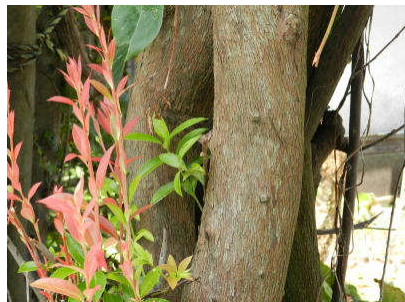
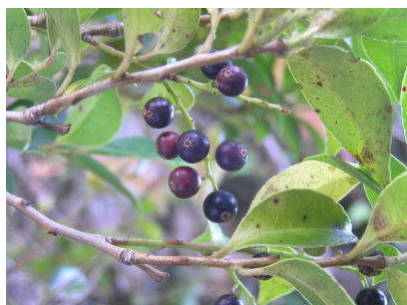




鋸歯は目立たない。



樹皮は細かく裂け、萌芽は赤みを帯びる。



小さな果実を多数付ける。

区別のポイント

若葉は紅色を帯びる。葉の表面は主脈・側脈がはっきり見える。樹皮は灰色で縦に細く裂けて剥がれ、落ちた後は赤褐色。

形態 常緑低木～小高木。高さ 1 ～ 5m でよく分枝する。

分布 本州（千葉・石川県以西）・四国・九州・沖縄

名前の由来 丸い小さな実が多数付く様子を「小小ん坊」と呼んだことから。

葉 〈全体〉卵状楕円形から楕円形で長さ 2.5 ～ 6.5 cm、幅 1 ～ 2.5 cm。

〈付き方〉互生。

〈葉柄〉2 ～ 6 mm。

〈基部〉ややくさび形。

〈葉先〉鋭く尖る。

〈縁〉浅い鈍鋸歯。

備考 果実はアントシアニンを多く含むブルーベリー。

出典 1